

報道資料

発表年月日：令和5年1月16日
担当部署名：地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター
担当：特命院長補佐 村田
連絡先：TEL 090-5164-5953、FAX 0742-46-6011

奈良県総合医療センターにおける 新型コロナウイルスの院内感染について(14:00 現在)

奈良県総合医療センターにおいて、1月12日、入院中の患者を他院へ転院させ、転院先の病院でPCR検査及び抗原定量検査を実施したところ、両検査結果とも陽性と判明しました。

その後、同病棟の5名の患者が陽性となり、当該患者をコロナ病棟に転棟させ、治療観察を行っています。感染の経緯及び対応についてお知らせします。

1. 2階西病棟 患者の感染について

○経緯等

感染者Aは、奈良市在住の80代男性、2階西病棟（血液腫瘍内科、泌尿器科、腎臓内科、頭頸部外科、耳鼻咽喉科他の患者を収容する病棟）において、入院されていた患者です。

令和4年11月2日より、当センターに入院されていましたが、1月12日、入院中の患者を他院へ転院させ、転院先の病院でPCR検査及び抗原定量検査を実施したところ、両検査結果とも陽性と判明したため、同日、当センターコロナ病棟に再入院となりました。

同日から当該患者と同室であった患者を含む当該病棟の入院患者全員に対し抗原定量検査を実施したところ、6人が陽性と判明しました。

合計患者7名が感染となりました。

○当院の対応

① 入院患者

患者41名を検査した結果、陽性と判明した患者7名は、いずれの陽性者もコロナ病棟に転棟させ、治療観察を行っています。

② 職員

職員32名を対象に1月12日より随時、抗原定量検査を実施し、現時点で32名の陰性が確認されています。

○感染対策

1月12日に臨時の感染対策会議を開催し、次のとおり対応することとしました。

- ・ 関係者の検査を実施し、同日から該当者の健康確認を継続する。
- ・ 同病棟の新規入院患者は、ゾーニングを施したうえで受け入れる。
- ・ 感染対策防護具は、医師・看護師がフェイスガード、二重マスク、エプロン、手袋を装着し、対応する。

院内においては、感染対策及び管理体制を執っていることから、外来診療及び入院については制限せず、通常の医療体制を継続することとしています。